

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	OZデイ33しものせき		
○保護者評価実施期間	7年 1月 14日		7年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	7年 1月 14日		7年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	各医療系、福祉系の専門職を多く配置し、重症心身障がい児の 各々の障害特性に応じた支援を行うことができる。専門性を 持った対応をしている。	有資格者のみを配置しており、活動プログラムは保育士、訓練 プログラムについてはリハ職、体調面は看護師が中心となり一 人一人に合わせた支援ができています。	それぞれの職種の専門性はより深められるよう研鑽を行う。
2	活動、支援プログラムの作成をチームで行うことができ、支援 内容のマンネリ感がなく実施できる。	各々の特性に応じたコミュニケーションスキルの獲得や身体機 能向上に向けた訓練プログラムを実施している。	目標を達成できた歳により、高いレベルの目標が達成できる よう支援の見直し、実施ができるよう努める。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者や職員の増員により、活動スペースが手狭に感じること がある。	利用者の増加、職員の増員、それに伴う物品の増加により物理 的に狭くなっている。また、支援の個別性と安全性を担保する ためより多くの活動スペースが必要となった。	個別性、安全性を担保するため活動内容や活動量に応じて空 間を分けて対応する。
2	父母の会などがなく、保護者間の情報交換や意見交換の場が持 てていない。	保護者を交えた活動やイベントはできているものの意見交換の 場としてはまだまだ機能していないのでは？	海峽マラソン参加やバザーなど現在行っているイベントに皆 さんが参加しやすいよう工夫を行う。
3			